5 - Post Office 解説

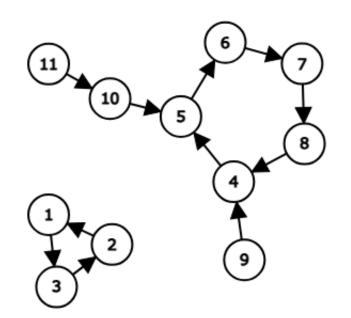
ynymxiaolongbao

問題概要

- N頂点のFunctional Graph(有向なもり)が与えられる。
- M個の荷物があり、頂点A[i]から頂点B[i]に、辺に沿って送っていく。
- 各時刻で、各頂点からは一つまで荷物を送れる。
- 最後に荷物の移動があった時刻の最小化(不可能ならそう主 張)

問題概要

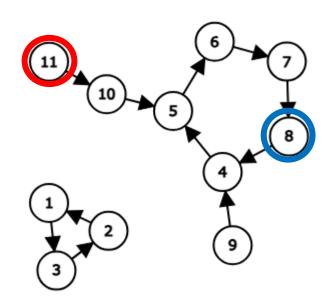
- Functional Graph(有向なもり)
- なもりグラフの語源→
- sample 6 ↓





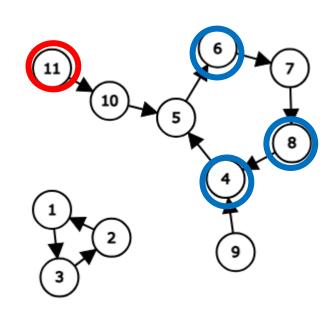
小課題1 (3点)

- N = 3000, M = 1
- ・sからtへの距離を調べる
- 辺に沿って進んでいき、時刻Nまでに到着しなかったら不可能
- O(N)



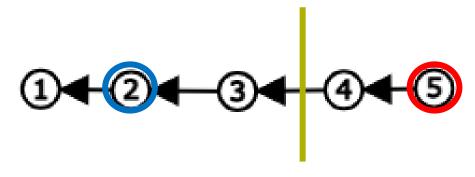
小課題 2 (9点)

- N = 3000, M = 3000
- ある時刻、ある郵便局 に注目
- 荷物がいくつかあり、そのうちどれか一つを送る
- ・どれを送るか? -> 最も送り先までの距離が遠いもの
- O(NM)
- 右の例では4,8,6の順に送る



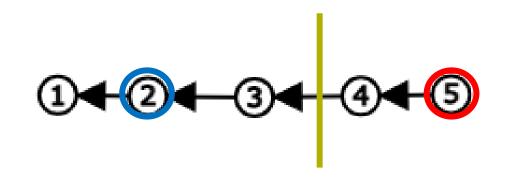
小課題3 (13点)

- パス ある郵便局kをすべての荷物が通過する
- その郵便局kの気持ちになる
- 各荷物は以下の二つの情報で特徴付けられる
- 郵便局kに到着する時刻
- 郵便局kから目的地に到着するまでの時間



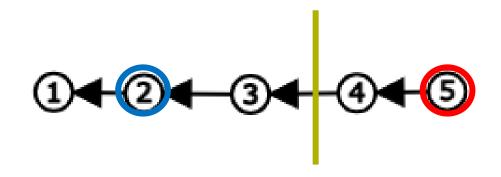
小課題3 (13点)

- 郵便局kに到着する時刻 … すべての荷物が最短で到着する訳ではないが、最短で到着するとしてよい (最短で到着したとしても、結局郵便局kからは一つずつ発送するため)
- 郵便局kから目的地に到着するまでの時間 … 最短としてよい (郵便局kから一つずつ発送するため)



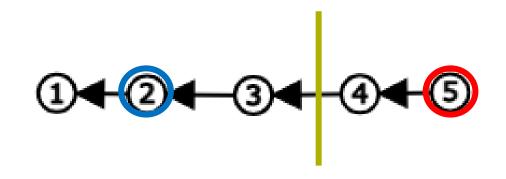
小課題3 (13点)

- 各時刻で、郵便局kにある荷物のうち、目的地までの距離が最大のものを発送する
- priority queue で O(N + MlogM)



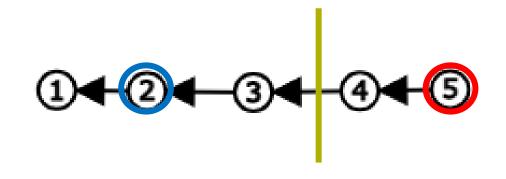
小課題 4 (25点)

- ある郵便局kに注目 ここから最後に発送する時刻を知りたい
- これに必要な情報は、各荷物について以下のみ
- 郵便局kに到着する時刻
- 小課題3の考察より、最短で郵便局kに到着するとしてよい



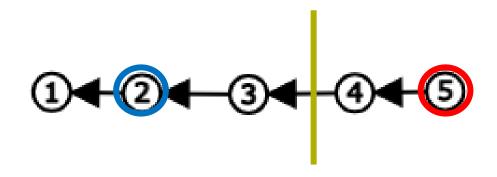
小課題4 (25点)

- ・郵便局 k から最後に発送する時刻は?
- 郵便局 k に最後に荷物が到着するまでのすべての時刻tについて、郵便局 k から最後に荷物を発送する時刻は、t以降に到着する荷物の個数 + t 1以上
- 逆にこれをみたせばよい



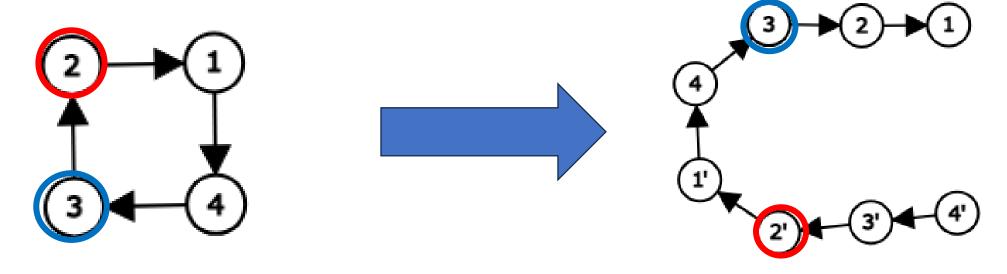
小課題 4 (25点)

- 区間加算区間maxのlazy segtree で管理しながらパスを辿る
- $O(N + M \log N)$



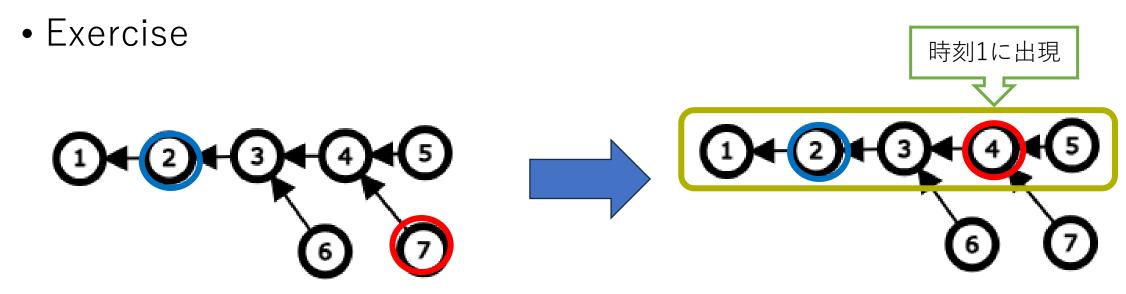
小課題5 (11点)

- 円環
- 切り開いて長さ2NのパスにすればOK
- Excersice



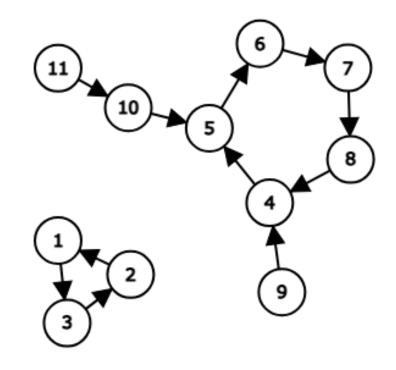
小課題 6 (25点)

- 木
- HLD(Heavy Light Decomposition)すると、パスの問題をいくつか解けば良くなる(荷物の個数の合計はO(MlogN)になる)



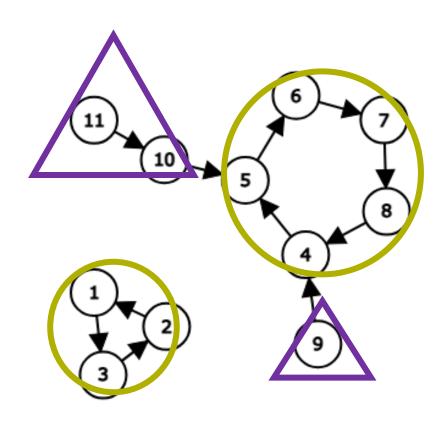
小課題 7 (14点)

- Functional Graph (有向なもり)
- ・二つの見方
- 円環 + 木の列 (円環に根付き木がいくつか生えている)
- 木 + 一辺(根付き木の根から一本辺が出ている)
- どちらでも、これまでの小課題にある二つに分けて解ける



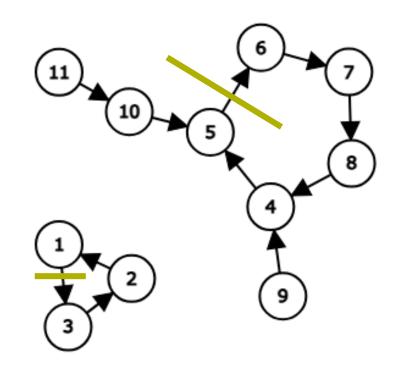
小課題 7 (14点)

- Functional Graph (有向なもり)
- ・二つの見方
- ・円環 + 木の列(円環に根付き木がいくつか生えている)
- 木 + 一辺(根付き木の根から一本辺が出ている)
- どちらでも、これまでの小課題にある二つに分けて解ける



小課題 7 (14点)

- Functional Graph (有向なもり)
- ・二つの見方
- 円環 + 木の列(円環に根付き木がいくつか生えている)
- ・木 + 一辺(根付き木の根から一本辺が出ている)
- どちらでも、これまでの小課題にある二つに分けて解ける



得点分布

• 50pts: 3

• 25pts: 2

• 13pts: 1

• 12pts: 15

• 3pts: 57

• Opts: 90